



第42回

夏期東京保育セミナー2025

コダーイ芸術教育研究所は1968年の設立以来、一人ひとりの人格を尊重し、円満な人格形成を援助していく保育を行うために、理論と実践を学び続けて57年経ちます。

夏期東京保育セミナー2025は、保育の各分野を学ぶ8分科会のほかに、設立から今に至るまでを振り返り、「いま私たちはどこにいるのか、これからどこに進んでいくのか！」を見て・聞いて・確認していけるような時間も設けます。美的なことも楽しみましょう。保育園見学も今年再開します。

どうぞ誘い合ってのご参加をお待ちしています。

分科会

日 時：2025年7月20日(日)・21日(月)
9:30~16:30

受講料：¥16,000（コ研正会員¥13,000）

会場・時間等の詳細は最後のページをご覧ください

保育園見学

（分科会受講者のみ）

日 時：2025年7月22日(火)

参加費：¥2,000

会場・時間等の詳細は別紙をご覧ください

進行予定	9:30~	12:30~13:10	~16:30
1日目	分科会	あいだの会	分科会

2日目	9:30~	13:30~
	分科会	分科会

7月20日（1日目）12:30~13:10
あいだの会「いま私たちはどこにいるのか、これからどこに進んでいくのか！」

*休憩・昼食時間は分科会ごとに異なります

8分科会

- | | | | | | |
|--------|----|-----------|-----|---------|---------|
| ● 乳児保育 | 育児 | ● 乳児保育 | あそび | ● 幼児保育 | ● 体育 |
| ● 環境認識 | | ● 大人の美的体験 | | ● わらべうた | ● 園長・主任 |

お問い合わせ・申込先

特定非営利活動法人コダーイ芸術教育研究所

Tel: 03-3805-2246 Fax: 03-3805-2247

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 2-53-5 ニューハウス西日暮里 202

分科会一覧

7月20日（土）・21日（日）9：30～16：30

分科会名・世話人		概 要	定員
乳 児	第1分科会	乳児保育 育 児 進藤 素子 目的：保育の中で子どもとのコミュニケーションは欠かせないものです。子どもと向き合い、一人ひとりを大切に育児していく方法や技術を身につけ、実践できるように学び合います。 内容：①保育の基本 ②育児について（意味と役割、条件、保育者の課題） ③育児の実際（食事・排泄・着脱・睡眠） ④育児の技術を習得する テキスト：『新訂 乳児保育の実際』『最初の3年間』	30名
	第2分科会	乳児保育 あそび 小室 志織 目的：自由で自発的な遊びが十分にできるための保育者の課題を学びます。 内容：基本的なことに加えて、遊びについて深く学ぶ2日間。 「遊んで何だろう？」というところから始まり、子どもの理解、発達、遊びの見方、わらべうたの実践例まで、理論と実践を結びつけながら進めていきます。 ①保育をする上で基本となること ② 環境の作り方 ③ 遊びについて ー 子どもがしていること ー 遊びに没頭できる環境作り ー 大人の役割 テキスト：『新訂 乳児保育の実際』『最初の3年間』	30名
幼 児	第3分科会	幼児保育 黒田 華帆 目的：幼児期の子どもの育ちに最も重要な遊びと、より発達していく子ども達を支える環境（保育環境・条件）を中心に、具体的な内容を通して保育者の課題について研修します。 内容：①幼児期の年齢的特徴を捉える ②保育の基本ー保育の環境・条件を作る ー 日課の計画と実際 ー 子どもが生活する空間 ー 道具の種類 ③幼児の遊び ー 遊びとは何でしょうか ー 遊びの種類 ー 遊びの条件 ー 1人の子どもの遊びを観る→事実を記録し、何を遊んでいるのかを知る ④遊びの中で観られる仲間関係 テキスト：『幼児保育資料集』『チェンゲディ・マールタ学習会のまとめ』『セチェイ・ヘルミナ学習会のまとめ』	30名

分科会名・世話人		概 要	定員
幼 児	第 4 分 科 会	体 育 中本 琢也 奥山 佐栄 目的：幼児期の身体的・精神的な特徴から子どもにとって必要な運動を考えます。子どもが楽しくより豊かな運動ができるように、体育課業や運動あそびの種類や実践方法を学びます。 内容：①体育の目的とは何か なぜ体育をするのか、健康教育として、乳幼児期の発達から考える ②運動の種類や順次制、運動あそびについて 課業のねらいとなる自然運動、模倣遊びとルールあそび、あそびの教育的価値等、体を動かすことをしながら考える ③体育課業と毎日体操の組織について 課業と毎日体操の構成・結びつき、大人の声かけ(指示、評価等)、課業案の立案、年間計画を考える テキスト：『幼児の体育』『体育遊び』	30 名
	第 5 分 科 会	大人の 美的体験 桑鶴 舞美 近藤 直恵 荻野 和代 目的：美的体験を積む 内容：テーマ『ことば』 ①美的教育の目的と課題 － 自然の美しさ、身の周りの環境 － 『ことば』の響き、想像する ②芸術作品を通しての体験 － 音楽・美術作品から想像する － 音を聴く、表現する ③創造できる喜び － 作品を作る － 表現する テキスト：『これはおひさま』『ミルクをのむとぼくになる』 『ちいさいはなびら』『ししの子は』『ぺろりんきゅう』 『世の中あべこべ』『すみれちゃんももちゃん』 『文学教育』	30 名
	第 6 分 科 会	環境認識 宮内 和也 目的：環境認識の実践に必要な知識と実際を知り、参加者自身が考えていけるように学びます。 内容：①環境認識という領域が、幼児時期の発達に“なぜ必要なのか” ②“どのような領域なのか”という内容 ③“なにが必要なのか”という計画や知識 ＊また、研修のなかで、テーマの意味や概念について調べるため、検索のできるデバイスをお持ちください。(スマートフォンやタブレット等) テキスト：『保育園・幼稚園の環境教育』	30 名

	分科会名・世話人	概 要	定員
わらべうた	第7分科会 わらべうた 谷口 伊都子 鈴木 典子	目的：子どもの発達に合ったわらべうたを知り、その材料を増やして、実践できるように学びましょう。 内容：①乳児、幼児のあそびの実践について ②清潔にうたう力をつける（読譜、発声、音叉の使い方など） ③課業を実践するために、目的、構成、実践方法について学ぶ テキスト：『いっしょにあそぼうわらべうた0・1・2歳児編／3・4歳児編／5歳児編』『まめっちょ1』 ※お持ちの方は、『わらべうた わたしたちの音楽』と音叉をご持参下さい。	40名
園長・主任	第8分科会 園長・主任 嶋岡 奈緒美 高木 量子	目的：保育園・幼稚園の保育内容は、保育の基本に向けた園長・主任の姿勢にかかっています。職員と共につくる保育実践の為に、専門的知識と課題を具体的にとらえて実践していけるよう、保育の実践について学び合ひましょう。 内容：①園長の仕事 ー 乳幼児期の子どもにとっての保育園 ー 園の運営・経営 ー 保育の環境、保育の方法 ②保育の実践 video を観て、保育内容・子どもを観る目を強める ー 乳児（育児・遊び）：幼児（遊び・課業） ③職員の育成 ー 職員が生き生きと保育をするための課題 ー 職員の研修（園内・園外）・職員会議等実施していること ④家庭と協力して子どもを育てるために工夫していること テキスト：『新訂 乳児保育の実践』『幼児資料集』	30名

当日の緊急連絡先：090-6946-6831 ※会場には連絡しないでください

【会場】東京教育専門学校

東京都豊島区目白2-38-4

目白駅下車徒歩1分(JR 山手線)

